

～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～

公民館ふるさと教育推進事業 取組事例

テーマ

伝えようふるさとの魅力

事業実施地区（中学校区名）	江津市立青陵中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	跡市地区コミュニティ交流センター 有福温泉地区コミュニティ交流センター 波子地区コミュニティ交流センター

テーマの背景

地区ごとに引き継がれてきている魅力ある伝統・建築物・頑張っている魅力的な人々を「ふるさとの魅力」として、多くの人に永く伝えたいと今回の事業を企画した。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：跡市小学校跡地利用ワークショップ

<取組の概要>

歴史的にも貴重な旧跡市小学校の利用について、跡市地区の拠点となるような活用を住民で協議し模索する。



<成果と課題>

歴史的にも貴重な施設の利用について、地域住民全体で協議している中で、住民全体を巻き込んだイベントを実施した。

最終的な結論は出ていないが、旧跡市小学校が跡市町住民にとって重要なシンボルであることが確認・周知できた。今後はこの活用について本格的な議論を深めたい。

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：伝統技能継承（神楽演舞・神楽道具政策製作技術）

<取組の概要>

当町には、結成 50 周年を迎えた「有福温泉神楽団」が、定期公演や全国各地・海外での公演、そして「子ども神楽団」の育成に取り組んでいる。その神楽のそのものの魅力やそれを支える技術を伝える教室を実施した。



<成果と課題>

幅広い年齢層の住民にこの教室に参加していただいた。これまで興味のなかった人々にも、本地域の神楽の魅力やそれを支える技術の一旦を伝えることができたと考えている。今後もこの教室を続けていきたいが、教室の運営費用の捻出が懸念される。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

一部の住民の議論や参加にならないように、住民の参加について配慮した。開催チラシの各戸配布や回覧の回数を増やした結果、多くの住民の方の参加をいただいた。

今後の展望

今後は事業の継続性が必須となってくるので、取組を継続したい。